

審判講習会資料

令和 8 年度



田辺・西牟婁学童野球協議会

審判部

令和 8 年度 審判講習会（塁審及び球審）

日時 令和 8 年 1 月 18 日（日） 神島台運動場

午前 9：00～12：00 大会規約等主な変更点、各塁のフォーメーション（本塁含む）

午後 13：00～16：00 投球判定（6 年生のバッテリー協力要請）・実技（2 チーム協力要請）

持参 マスク（用意できる方）

服装 運動がしやすい服装 球審マスクを装着しやすい帽子

AM 9：00～ 開会

AM 9：15～ 準備運動（全員） GO⇒STOP⇒CALL 、ストライク・ボール

AM 9：40～ 各塁に分かれて説明（1 塁・2 塁・3 塁・ホーム） 各塁 30 分程度

- 試合開始 プレイまでの動作
- 試合開始前 ミーティング、用具点検
終了後 ミーティング（今回 グッドマナー採点：中田旗・若鷺旗・あと一試合）
- トラッキングについて

午後

PM 1：00～ボーク

PM 1：30～2：30

投球判定練習

PM 2：30～4：00

試合形式で行う

*** 以上で行う予定ですが当日変更する場合がありますのでご了承ください。**

尚、球審用具用意できる方は宜しく願います。

午前

田辺・西牟婁学童野球協議会

審判講習会

全 員

- (1) 準備運動
- (2) アウト・セーフのコール
- (3) Go ⇒ Stop ⇒ Look ⇒ Call の練習
最後は Time 「タイム」

一塁審

- ① 判定の位置・視点・コール・フェンスラインについて
視点：ベース
コール（アウト、セーフ）
フェンスライン：投手、野手、ピッチャーからの暴投
- ② ボークのコールの仕方
- ③ メカニクス
(外野の判定責任範囲)
例 ノーアウト 無走者 二塁審が打球を追った。
走者2塁 3塁審が打球を追った
等々想定して動いて判定（アウト、セーフどちらでもよい）

二塁審

- ① メカニクス
外に位置した時
一塁審、三塁審が打球を追った場合の内野への入り方
外野への打球の責任範囲
飛球は必ず追う（コール）
内野に位置した時
ワンアウト1塁、一塁審が打球を追った場合
ランナー1・2塁、2塁 3塁審が打球を追ったとき
盗塁
判定位置
走者の走塁位置（ベースパスにスライディング、守備：ベースパスを開けているか）

三塁審

- ① 三塁審の姿勢、位置
- ② 外野への打球の責任範囲
- ③ 盗塁（2塁にランナー）

判定位置

- ③ タッチアップ
- ④ 塁の占有権
- ⑤ ラインアウト
- ⑥ メカニクス

無走者で2塁審が打球を追ったとき

等々

球 審

- ① 内野への打球の責任範囲
- ② 本塁のタッグプレイ（位置）
- ③ コリジョンルール
- ④ 接触プレイ
- ⑤ スリーフットレーンについて
- ⑥ 本塁周辺のフェンスライン
- ⑦ 指導事項の取り決め

打者の待機位置

選手交代、守備変更の際監督は打順表を球審に示す

- ⑧ メカニクス

無走者で一塁審が打球を追う

内野ゴロ等で一塁でのプレイが生じるときの動き

45 フィート地点までついて行き一塁でのプレイに備える等

- ⑨ タッチアップ（ホロー含む）

令和 8 年度 主な規約改正・確認、マナー、スピード化に関する主な取り組み等について

田辺・西牟婁学童野球協議会

- ⑨ 審判：4 人制とする。
- ⑩ 打順表の交換 第 1 試合目は試合開始予定 40 分前、第 2 試合目以降は前の試合 3 回終了時大会本部で行う。

野球規則改正関係（再確認項目含む）

- ① 二段モーション、グラブを叩いたりする動作は「投球動作の一部とみなす」という解釈となりボークを科さないことになった。（一時停止＝中断としてボーク）
- ② 走者が、フェアボールにフェア地域で場合は原則としてすべてアウトであることを明確になりました。
例外 1) いったん内野手（投手含む）に触れたフェアボールに触れた場合。
例外 2) 1 人の内野手に触れないでその股間または側方を通過したフェアボールに、すぐその後方で触れても、この打球に対して、他のいずれの内野手も守備する機会がないと審判が判断した場合。
この 2 つのケースは、いずれも守備側のミスした打球まで避けることを走者に課することができないとの考え方から定められたものです。（2020 年の改正）
- ③ ランダンプレイ（2022 年改正）
接球の動作が必要→ボールを保持した状態の野手がステップしただけで走者の方を向いた場合でも アウトにしようとする行為と審判が判断すれば接球行為とみなす。
- ④ 監督またはコーチが 1 イニングに同一投手のもとへ 2 度行った場合、投手は自動的に交代しなければならない。（この項目がなくなっています 2025 年度から）

マナー、スピード化その他禁止事項等に関する主な確認項目

- ① ベースコーチ、次打者について
攻守交代時速やかに「コーチーズボックス」「次打者ボックス」に就くこと。
（イニング間のミーティング等には入らず所定の位置につくこと）
次打者は、投球練習中はバッターボックス近くでなく次打者席で待つこと
- ② 投球ボールを受ける場合（フェンスライン外含む）
選手はフル装備（捕手ヘルメット、マスク、プロテクター、レガーツ、ファウルカップ）が必要。着用していない限り立って捕球すること。 ～令和 5 年度から～
試合が開始されれば、指導者は一切練習相手ができないことになっています。
* 令和 6 年度 当協議会も禁止を決定（ブルペンについては 1/20 理事会で協議）
- ③ 野球規則 5-07a「投手は投手板に触れてサインを見なければならない」
「先ずピッチャーにボールが戻ればピッチャープレートに着くこと」
- ④ 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘う声を発しない。

- ⑤ サインは必ず打者席内で見ること。
- ⑥ 控え選手がベンチを出て守備練習を見守ること（ベンチの少し前は OK）および投手の準備投球に合わせて素振りすることを禁止する。一注一5.10k（全国各大会共通）
- ⑦ 学童部・少年部の試合においては、ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。

一注一 両チームのプレーヤー及び控えのプレーヤーは、実際に競技に携わっているか、競技に出る準備をしているか、あるいは一塁または三塁のベースコーチに出ている場合を除いて、そのチームのベンチに入っていないなければならない。

- ⑧ 「ヒット・バイ・ピッチ」について（令和 6 年度より協議会取り決め事項変更）
打者が頭部に「ヒット・バイ・ピッチ」を受けたときは、その程度を問わず臨時代走の処置を行う。（臨時代走：投手、捕手を除く⇒投手を除くに変更）
- ⑨ 指導者であっても試合が始まれば選手の練習相手は禁止です
- ⑩ 今年度からフェンスライン外での練習もグラウンドルールで練習場所の指定がない限り禁止としました。
- ⑪ 抗議権を有する者
当該プレーヤーか当該プレーヤーと監督のいずれかとする（県軟連学童部）
（必携：当該プレーヤーか監督いずれか 1 名）
- ⑫ 試合の挨拶
試合前後の本塁整列の挨拶がすべてである（応援団への挨拶は奨励）
試合終了後の大会本部、相手チームへの挨拶は不要